

県政における当面の主な課題

～教育課題②(学力向上)～

2012年9月9日
第4回三重県経営戦略会議



目 次

〔頁〕

1 はじめに	1
2 現状と課題		
2-1 公立小学校における学力の状況	3
2-2 公立中学校における学力の状況	4
2-3 1日あたりの学習時間の状況	5
2-4 テレビ、ビデオ等の視聴、携帯電話の使用の状況	6
2-5 子どもの自己肯定感	7
3 県の取組		
3-1 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の取組	9
3-2 学力向上に向けた県民運動の展開①	10
3-3 学力向上に向けた県民運動の展開②	11
3-4 学力向上に向けた県民運動の展開③	12

1 はじめに

- 「学力」はややもすると、知識の量を中心とらえられる傾向がありますが、これからの中においては、問題を解決する力、困難を乗り越える力、コミュニケーション力といった、変化の激しい時代を生き抜くための力が求められており、教育はこうした要請に応えていく責務があります。
- このため、「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」、さらには「主体的に学習に取り組む態度」を「学力」の重要な3要素ととらえ、その育成を図っていきます。
- 特に、「何を学んだのか」だけではなく、「それをどう生かすのか」を重視し、課題を解決する力、他者とともに学び高め合う力の育成に意を用いることを、三重県の学力育成にかかる基本姿勢とします。
- このようなことから、県では、全ての子どもたちが一人ひとりの個性に応じて能力を伸ばし、学力と社会への参画力、豊かな心を身につけるとともに、自立する力や共に生きる力を育むことができるよう、県民総参加による教育の取組を進めています。今後、さらに子どもたちの学力向上を図るうえで、以下の論点を中心にご議論いただきたいと考えています。

【論点】

- (1) 子どもたちの学力向上を図るため、どのような取組を進めればよいか。
- (2) 特に、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学力向上を図っていくうえで、どのような取組を進めればよいか。

2. 現状と課題

2-1. 公立小学校における学力の状況

- 平成24年度全国学力・学習状況調査結果によると、公立小学校における三重県の学力は、全国と比べて全般的に全国平均を下回る状況にある。特に国語、理科及び算数の活用に関する問題について、全国と比較して差が大きい。

(図表1)公立小学校における学力の状況
<平成24年度全国学力・学習状況調査結果(小学校)>

	国語		算数		理科
	国語A 主として 「知識」に關 する問題	国語B 主として 「活用」に關 する問題	算数A 主として 「知識」に關 する問題	算数B 主として 「活用」に關 する問題	
全国(公立) 平均正答率の 95%信頼区間	81.4% ～ 81.7%	55.4% ～ 55.8%	73.1% ～ 73.5%	58.7% ～ 59.1%	60.8% ～ 61.1%
三重県(公立) 平均正答率の 95%信頼区間	79.0% ～ 80.2%	51.8% ～ 53.5%	71.4% ～ 73.0%	56.0% ～ 57.6%	57.2% ～ 58.8%

(出典)国立教育政策研究所「平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果」

(○印は、全国の平均正答率の最小値と三重県の平均正答率の最大値の差が1ポイント以上の項目)

2-2. 公立中学校における学力の状況

4

- 公立中学校における三重県の学力も、全国と比べて全般的に全国平均を下回る状況にある。特に国語の活用に関する問題について、全国と比較して差が大きい。

(図表2)公立中学校における学力の状況
<平成24年度全国学力・学習状況調査結果(中学校)>

	国語		数学		理科
	国語A 主として 「知識」に關 する問題	国語B 主として 「活用」に關 する問題	数学A 主として 「知識」に關 する問題	数学B 主として 「活用」に關 する問題	主として 「知識」「活 用」に關する 問題を一體的 に出題
全国(公立) 平均正答率の 95%信頼区間	75.0% ～ 75.2%	63.2% ～ 63.4%	62.0% ～ 62.3%	49.2% ～ 49.5%	50.9% ～ 51.1%
三重県(公立) 平均正答率の 95%信頼区間	73.3% ～ 74.7%	60.4% ～ 61.8%	60.7% ～ 62.6%	46.9% ～ 49.1%	49.7% ～ 51.4%

(出典)国立教育政策研究所「平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果」

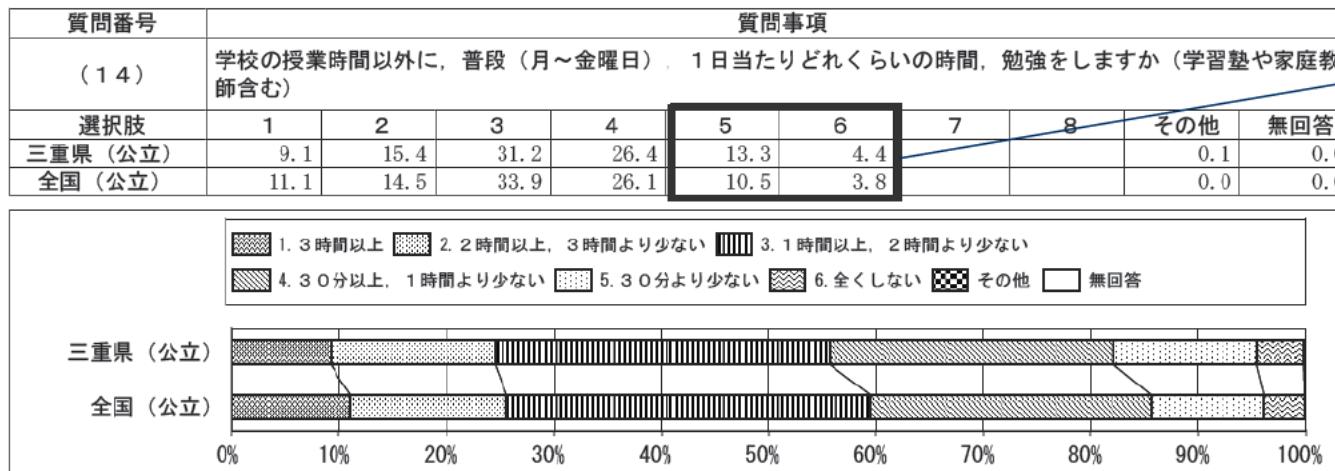
(○印は、全国の平均正答率の最小値と三重県の平均正答率の最大値の差が1ポイント以上の項目)

2-3. 1日あたりの学習時間の状況

- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）の1日当たりの学習時間を問う設問で、「全くしない」と「30分より少ない」と回答した児童生徒の割合を合計すると、全国と比較して、小学校・中学校とともに3ポイント以上高くなっている。また、小学校より中学校の方がその割合が高くなっている。

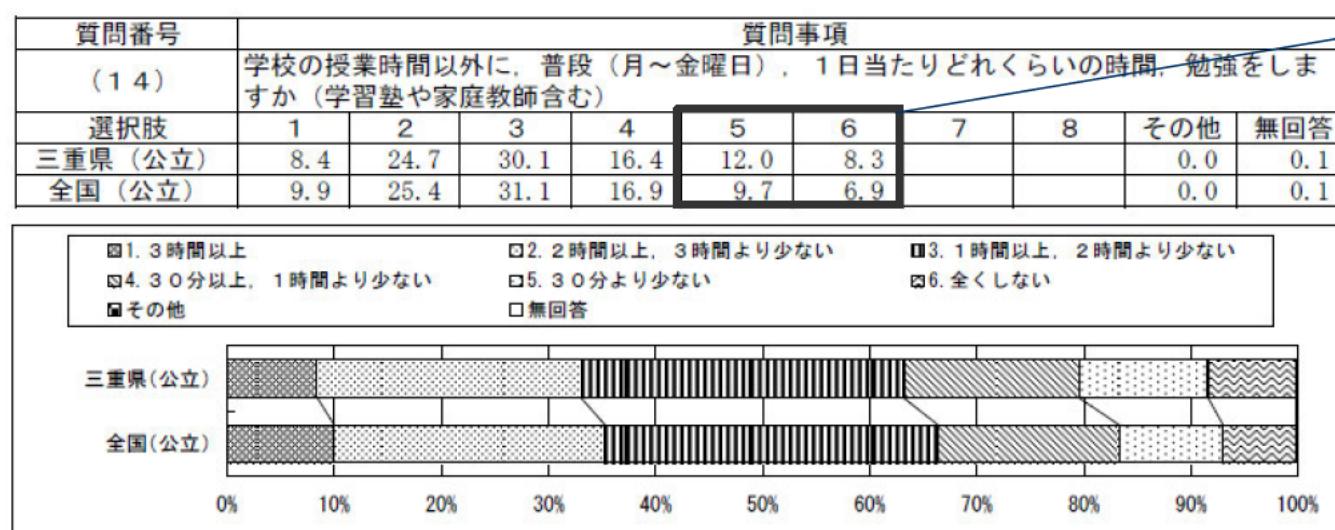
(図表3) 1日あたりの学習時間の状況

[小学校]
(公立)



三重県（公立）
17.7
全国（公立）
14.3

[中学校]
(公立)



三重県（公立）
20.3
全国（公立）
16.6

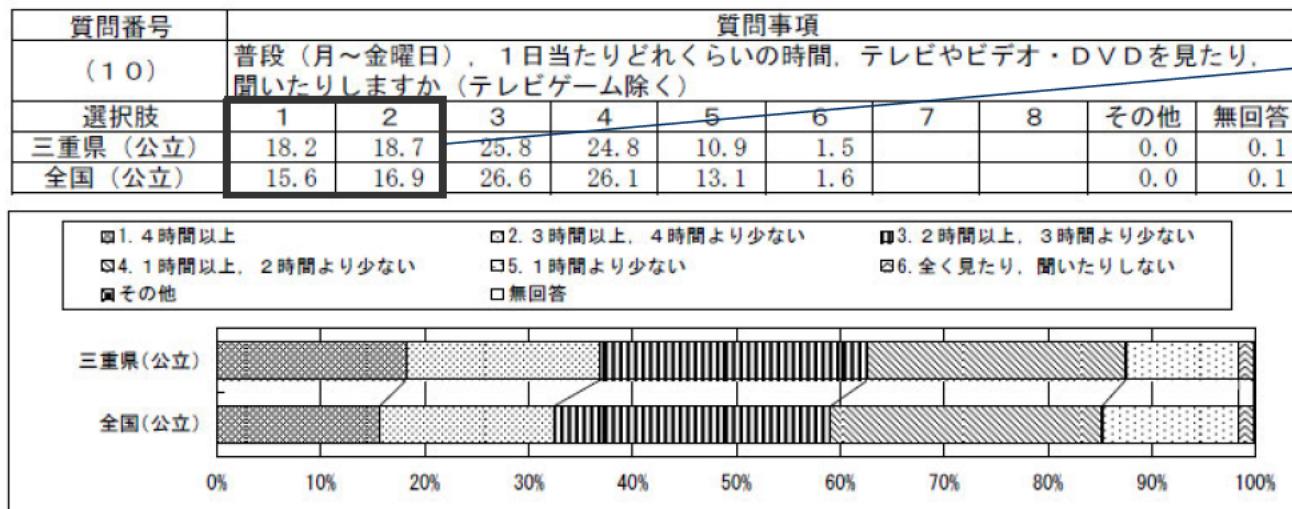
2-4. テレビやビデオ等の視聴、携帯電話の使用の状況

6

- ・普段（月～金曜日）、1日当たり、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている時間と聞いている設問に対して、「3時間以上」と回答した中学生の割合が、全国と比較して、4.4ポイント高い。（小学校については、全国と比較して、0.9ポイント高い。）
- ・携帯電話で通話やメールをしているかとの設問に対して、「ほぼ毎日している」と回答した中学生の割合が、全国と比較して、6.3ポイント高い。（小学校については、全国と比較して、1.4ポイント低い。）

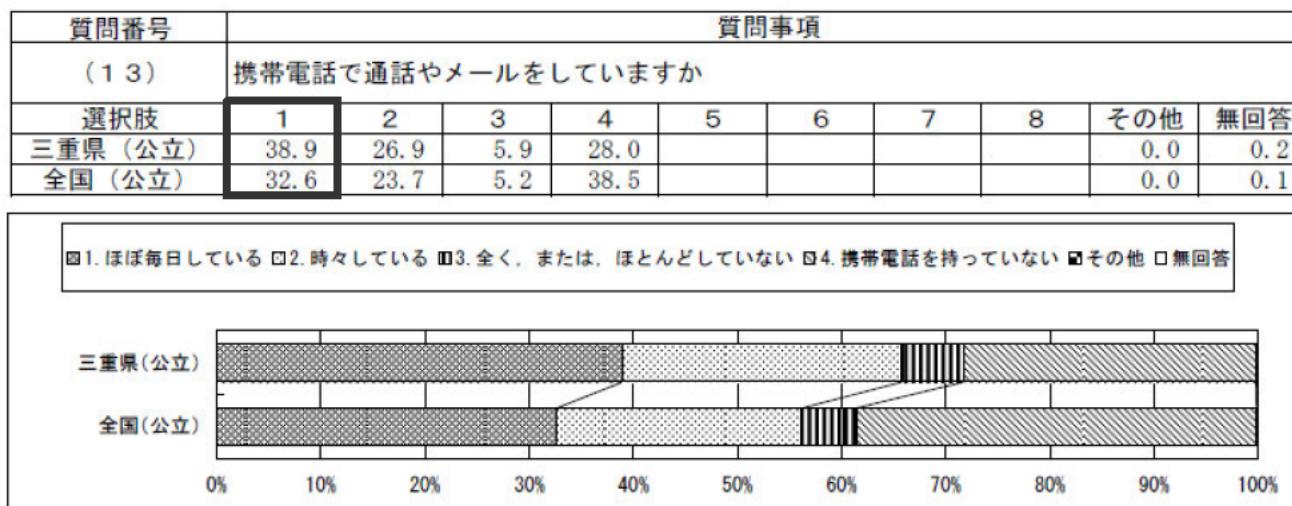
(図表4)テレビやビデオ等の視聴、携帯電話の使用の状況(中学校)

<テレビ・ビデオ等>



三重県（公立）
36.9
全国（公立）
32.5

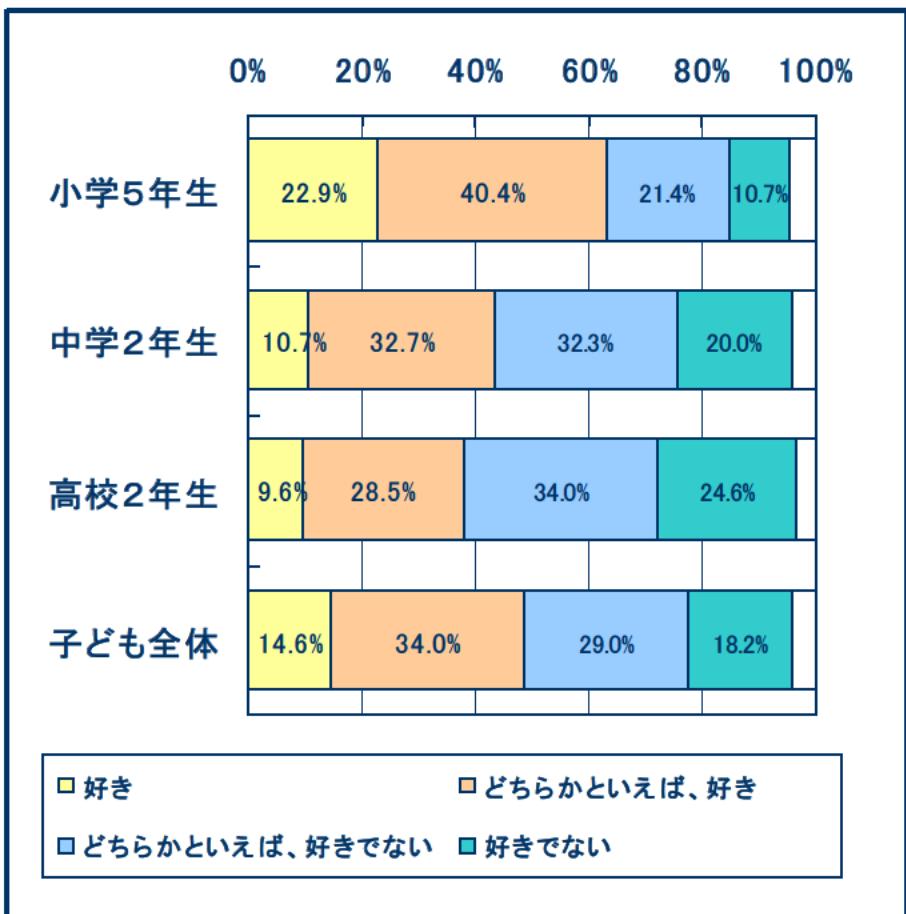
<携帯電話>



2-5. 子どもの自己肯定感

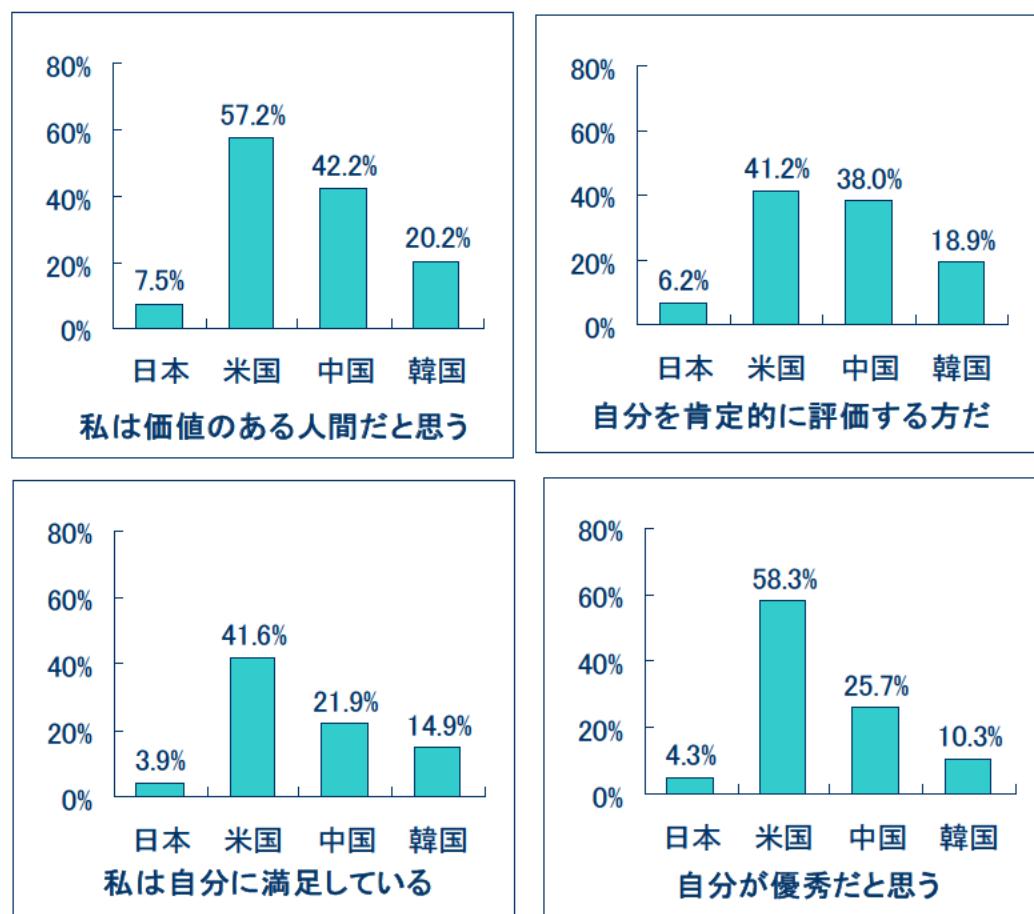
- 三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査をみると、自分のことが「好きでない」という回答が全体で20%近くを占めており、学年が上がるとともにその割合が増えている。
- 国際比較調査データをみると、日本の高校生は外国と比較して、自己肯定感が低い傾向が見られる。

(図表5)「自分のことが好きですか」に対する回答
(三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査)



(出典)三重県(2012)「みえの子ども白書」

(図表6)高校生の自己肯定感<国際比較>
(日本青少年研究所(2011)「高校生の心と体の健康に関する調査」)



(出典)三重県(2012)「みえの子ども白書」

3. 県の取組

3-1. 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の取組

取組の視点

- ・家庭や地域などさまざまな主体と連携しながら、県民総参加で子どもたちを育む運動を展開することで、子どもたちの学習習慣や生活習慣を確立し、主体的な学びの向上を図る。
- ・学校での教育活動の成果や課題を家庭や地域に積極的に発信するとともに、保護者や地域住民が学校教育に参画する取組を推進する。

1 県民総参加による学力の向上

県民総参加で、子どもたちの学習習慣や生活習慣を確立する運動を展開するとともに、学校、家庭、地域などがそれぞれの役割を果たし、連携・協力して子どもたちの学力向上に向けた教育を推進します。
①県民運動の展開 ②授業改善と学習意欲の向上 ③少人数教育の推進 ④グローバル人材の育成

2 地域に開かれた学校づくり

コミュニティ・スクールなど、保護者や地域住民等が学校運営に参画する組みの導入による開かれた学校づくりを進めるとともに、地域が学校を支える取組を推進し、地域全体で子どもを守り育てる環境を創ります。

- ①地域とともにある学校づくりの推進
- ②地域で支える教育活動の推進

3 教職員の授業力向上

子どもたちの学びを支えるため、教職員が相互に学び合う授業研究の文化を学校に定着させ、「わかる授業」、「魅力ある授業」づくりを進め、教職員一人ひとりの授業力の向上を図ります。

- ①教職員の授業力向上に向けた研修の実施

4 安心して学べる環境づくり

全ての子どもたちが、学習意欲を持って安心して学べるよう、小中学校の一貫した相談体制等を構築するとともに、子どもが抱える課題を地域全体で解決するためのネットワークづくりを進めます。

- ①学びを支える環境づくり

実践取組

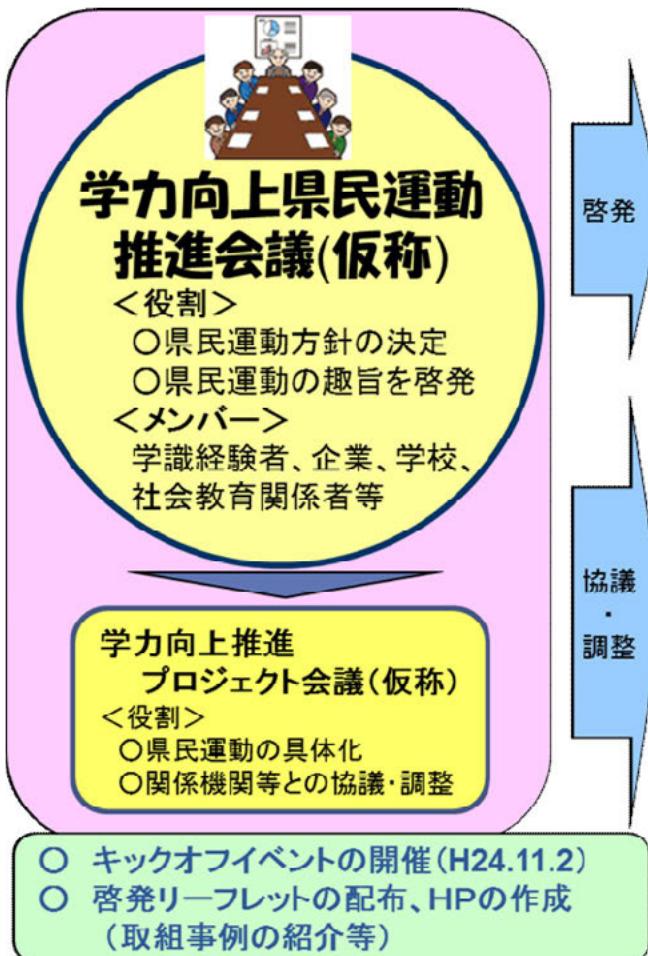
3-2. 学力向上に向けた県民運動の展開①

10

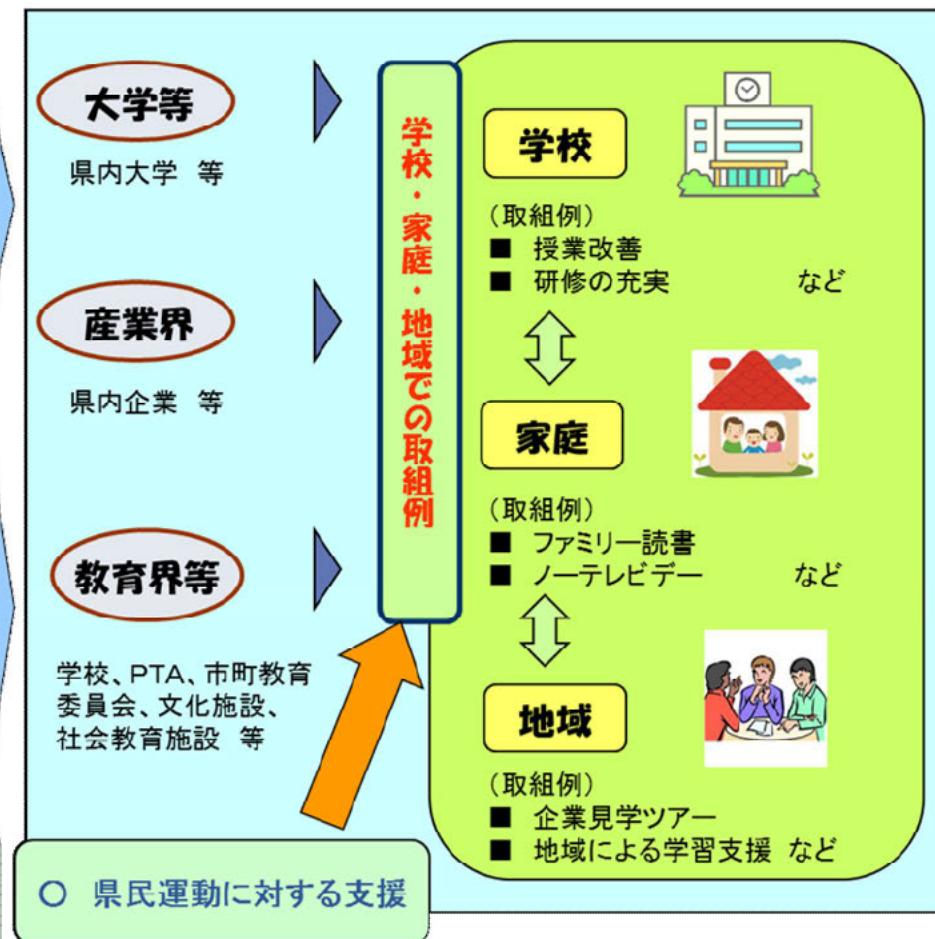
学力向上に向けた県民運動

本県では、子どもたち一人ひとりが主体的に学習に取り組み、社会人、職業人として自立するために必要な能力や態度、知識を身につけられるよう、「学校」・「家庭」・「地域」がそれぞれの役割を認識し教育力を高めながら、一体となって子どもたちの学力を育んでいくため、県民運動を展開する。

● 学力向上県民運動の推進



● 県民総参加による県民運動の実施



学力の向上

3-3. 学力向上に向けた県民運動の展開②

学力向上県民運動推進会議(仮称)委員

※五十音順

名 前	区 分	備 考
安藤 大作	社会教育関係者	社会福祉法人むげんのかのうせい 理事長
石原 多賀子	学識経験者	国立大学法人金沢大学 監事
内田 淳正	学識経験者	三重大学 学長
岡島 久美子	社会教育関係者	特別非営利活動法人まなびの広場 理事長
貝ノ瀬 滋	学校教育関係者	東京都三鷹市教育委員会 教育長
金子 郁容	学識経験者	慶應義塾大学 教授
草薙 明	学校教育関係者	川越町教育委員会 教育長
ダマシェク 由美子	企業関係者 (グローバル関係分野)	日本キャボット・マイクロエレクトロニクス株式会社 代表取締役
中谷 文弘	学校教育関係者	三重県立宇治山田高等学校 校長
萩野 慎二	企業関係者 (科学技術関係分野)	NEC 宇宙システム事業部プロジェクト 推進部 プロジェクトディレクター
平岩 国泰	教育N P O関係者	特定非営利活動法人放課後NPO アフタースクール 代表理事
前田 光久	子育て支援団体関係者	みえ次世代育成応援ネットワーク 運営委員会 委員長
増田 喜昭	企業関係者 (読書関係分野)	子どもの本専門店「メリーゴーランド」 店主
向井 弘光	企業関係者 (キャリア教育関係分野)	ICDAホールディングス株式会社 CEO

3-4. 学力向上に向けた県民運動の展開③

12

学力向上県民運動推進会議(仮称)・県民運動【平成27年度までの4年間のスケジュール】(案)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度～
展開	県民運動の周知 ・啓発リーフレット等配付 ・キックオフイベント開催	県民運動の実施とフォローアップ ・学力向上キャンペーンの展開 ・ホームページで配信、ワンポイントリーフレットの配付	県民運動の実施と成果の検証 ・成果発表県民大会	→ 繼続
県民運動 推進会議	第1回県民運動推進会議 (10月15日)	第2回県民運動推進会議 (8月下旬～9月初旬) 地域が主体的に実施する取組への県民 運動推進会議のメンバーの派遣	第3回県民運動推進会議 (8月下旬～9月初旬)	第4回県民運動推進会議 (8月下旬～9月初旬)
具体的な 取組(例)	・市町及び他部局の取組 のリサーチ ・学力向上推進プロジェ クト会議の設置 ・市町及び学校等との協議	県内一斉：「ファミリー読書」 学校、家庭、地域等、「学ぶ意義が実感できる授業の工夫」「企業見学ツアー」「県内企業が開催する企 業展への参加」「家庭学習の充実」「ノーテレビデー、ノーゲームデー、携帯ル ル」「地域の様々な主体による学校教育支援」「郷土教育の充実」「郷土の史跡探 訪ツアー」「高等教育機関との連携による出前授業」「英語キャンプ」等	市町・学校・地域の取組を共有し、互いに学び合う	
広報活動	【広報活動の実施】 ・ホームページへコンテンツ掲載 (県民運動、県民運動推進会議) ・啓発リーフレット等の配付 ・新聞廣告等 「県民総参加による学力の向上」 特集(予定)	【広報活動の充実】 ・ホームページでの発信(県民運動、県民運動推進会議) ・ワンポイントリーフレット作成 ・学力向上県民運動シンボルマークの作成	【広報活動の充実】 ・ホームページでの発信(県民運動、県民運動推進会議) ・ワンポイントリーフレット作成	【広報活動の充実】 ・ホームページでの発信(県民運動、県民運動推進会議) ・取組成果のまとめと公表
「県民総参加による学力の向上」に挑戦します！				